

株式会社ジェイコムウエスト
第15回（2025年度）放送番組審議会 実施概要

第15回の放送番組審議会は、2025年11月6日(木)、株式会社ジェイコムウエスト本社において、5名の審議委員が出席し開催。審議会委員長進行のもと、「かわるもの、かわらないもの～神戸今昔～」、「ジモトピ LIVE」を視聴し、番組に関する審議を行った。

■審議委員（出席者）

委 員 長 中川 修一	(高槻まつり振興会 会長)
委 員 小山 敬子	(オフィス KEIKO 代表)
千田 忠司	(千日前道具屋筋商店街振興組合 理事長)
松田 須英子	(伏見大手筋商店街振興組合 理事)
土屋 智子	(宝塚商工会議所 専務理事)

■審議番組

1. 阪神淡路大震災30年特別番組
「かわるもの、かわらないもの～神戸今昔～」
2. 2025年10月新番組
「ジモトピ LIVE」

■審議内容

1. 「かわるもの、かわらないもの～神戸今昔～」（2025年1月17日放送分）

- ・番組を通じて記録は大切なことであり、その当時の地域のことを細かに残しておくことができるが、ケーブルテレビであり、その使命を担っていると思った。
- ・工夫されて制作された番組である。
- ・映像の力、メッセージが伝わってくる良い番組であった。感動した。
- ・伝えたいことが伝わってきた番組である。
- ・ケーブルテレビだからこそできた番組と思った。
- ・保存版として、たくさん的人にみてもらいたい番組である。教材としても使ってほしい。
- ・残しておいてほしい番組であった。次の世代にもつなげてほしい。
- ・震災のことを風化させないためにも、定期的にこのような番組を発信していくことが大切。
- ・地域の人が地域のこと、思いを語っている。災害時においての地域のつながり、結びつきの大切さを感じた。
- ・「防災」を取り上げた番組を制作してほしい。
- ・「川の氾濫」など定点カメラなどをもってケーブルテレビでみると良い。

2. 「ジモトピ LIVE」（2025年10月4日放送分）

- ・LIVE感があり良かった。
- ・生放送であるので臨場感があつて良かったが、画質が良くない箇所があつて残念であった。
- ・月に1回の放送とされているが、その都度、良い題材があるのかが心配。
- ・ドローンを使っての映像など、映像の作り方が新鮮で良かった。

- ・アナウンサー、リポーターが原稿を丸読みしているように思え、せっかくの LIVE なのに残念と感じた。
- ・今回の放送においては危険な場面（バンジージャンプ）があった。このような危険な映像を流す際には安全に考慮して放送しているなどのテロップで視聴者が安心して見られるように配慮も必要と考える。
- ・女性アナウンサーの話し方が気になった（語尾を上げる）。耳障りに感じる部分があった。
生放送なので特に気をつけてほしい。

以上のご意見を、現場の制作スタッフや関係者にフィードバックし、今後の制作に役立てることを事務局よりお伝えし、番組審議会を終了した。

以上